

Shokuhin News Neo -2021 January-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 自然科学総合研究棟 2 号館 211 号室
電話 078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin



News

新年

今年も年が明けた。男子学生は前厄、本厄もいるだろうが、厄払いは終わっただろうか。私は神社で研究室各員が健康に過ごせることを願ってきた。コロナウイルスオミクロン株がはやっているこの時世だが、研究室員、教授ともに病気に負けないように運動、とりわけ筋トレに励んでほしいところだ。

研究室訪問

B3 の学生たちが食品栄養化学研究室に訪問に来てくれた。合計で 20 名ほど訪問に来てくれた。今年の学生はメモを取りながら話をきいてくれてその真摯さに感銘を受けた。我が研究室を第一希望とする学生もいたためありがたいことである。新しくはいってくる B3 と仲良くなってにぎやかな研究室になってほしい。



B3 に研究説明を行う B4 の峰松(左)と辻(右)

フリートークスペース

こんにちは。M2 の竹本孝多です。
新年明けましておめでとうございます

ます。今回のフリートークでは私が学部生時代に所属していた馬術部で大変お世話になった馬であるタカオくんの現在を紹介させていただこうと思います。

タカオに関しましては私の初回のフリートークで紹介いたしました(大人しく、頑張り屋さんなおじいさん馬です)。あの記事を書いた当時はまだ大学で活躍していたのですが、2021 年の 1 月に年齢を考慮して乗馬を引退する運びとなりました。そして彼は今、淡路島のとあるご夫婦のもとでぬくぬくと隠居生活を送っています。

ご夫婦はタカオを招き入れるためにご自宅の敷地内に馬房(馬の家)やパドック(小さな放牧場)まで用意してくださったそうです。Facebook で頻繁にタカオの様子を投稿してくださるのですが、そこでは、とても愛情いっぱい面倒をみてもらっていることが伝わってきます。やはりタカオの魅力は人を選ばないのだなあ改めて感じました。

そんな引退後のタカオに会うために、コロナが少し落ち着いていた 2021 年の 11 月に部活の仲間と淡路島までドライブに行ってきました。私たちがご夫婦の家の近くまで来たことを伝えと一般道までタカオを連れて出迎えてくださり、とてもびっくりしました。久しぶりにあったタカオは以前にも増して人懐っこくなくなり、まるでお人形さんのようでした。もう次はいつ会えるかわかりませんが彼が淡路島で元気で過ごしている様子を確認できて本当に良かったです。ご夫婦には感謝の気持ちでいっぱいです。



馬のタカオ

編集後記

雪もちらほらして冬らしい日が続いてきましたが、そろそろ寒さもやわらぎ暖かくなってほしいところですね。暖かくなると花粉との戦いが始まりますが、3 月はスギヒノキが猛威を振るいます。アレルギーの方は早めに病院へいってください。

田中 僚(B4)